

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年3月26日（月）～4月1日（日）〔平成24年第13週〕の感染症発生状況

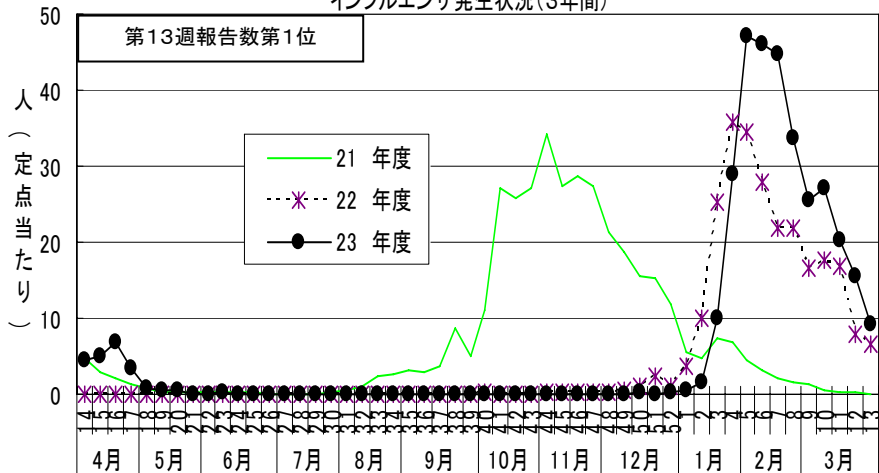
第13週で患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘でした。

インフルエンザは定点当たり9.28人と前週（15.58）より患者報告数は減少し、国の定める終息基準値（定点当たり10人）を下回りましたが、過去10年間の同時期と比較すると、平成19年に次いで2番目に多い報告数となっていますので、引き続き予防対策が重要です。

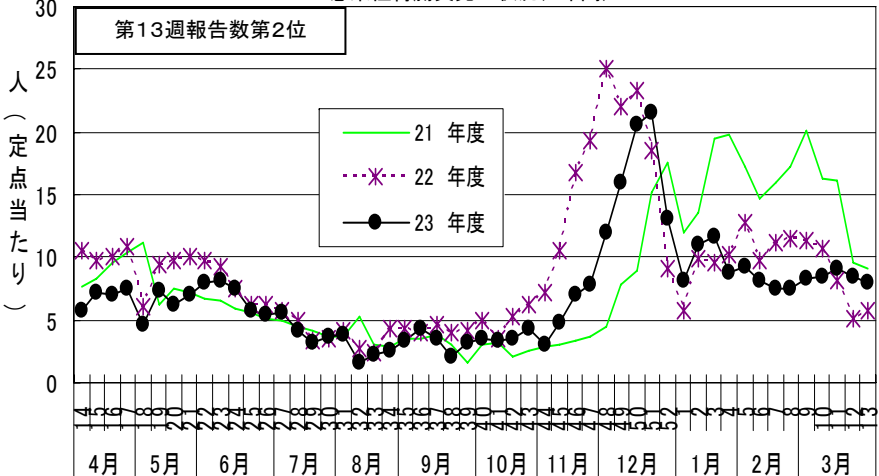
感染性胃腸炎は定点当たり8.03人と前週（8.48）より患者報告数はやや減少していますが、例年をやや超えるレベルで推移しています。

水痘は定点当たり1.15人と前週（1.06）より患者報告数はやや増加していますが、例年を下回るレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



## 春から夏にかけて流行する感染症～咽頭結膜熱～

例年春から夏にかけて、主に6～7月をピークに小児（特に5歳以下）を中心として咽頭結膜熱（プール熱）が流行します。現在、咽頭結膜熱の流行の兆しはありませんが、今から、特徴等を理解し、感染予防対策を心がけましょう。

### 症状は？

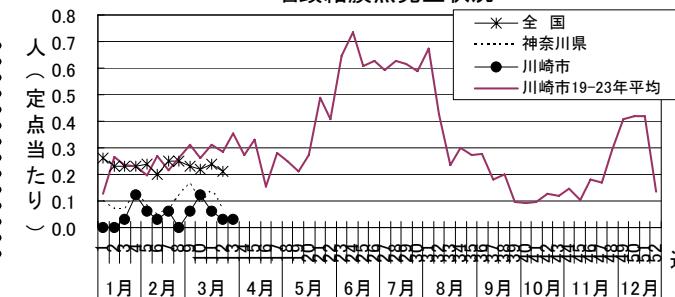
潜伏期間（5～7日）を経過した後、39℃前後の発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とし、その他に頭痛、食欲不振、全身倦怠感等が3～5日間程度持続します。

### 感染経路は？

患者からのくしゃみや咳などのしぶきによる飛沫感染、または手指を介した接触感染が考えられています。

プールでタオルを感染者と共用することなどで感染することもあります。

咽頭結膜熱発生状況



### 気をつけたいこと！！

感染者との密接な接触を避け、流行時にはうがいや手指の消毒を心がけましょう。

また、水泳時には水中眼鏡を着用し、水泳前後にシャワーを使用するとともに、タオルの共用は控えましょう。

